

## AHPNW 東京ワークショップ開催報告

2017年10月30日～31日、各国、国際機関等の省エネ施策および温暖化防止対応の各専門家を招聘し、国際ファッションセンタービル(墨田区横網)にて「アジアヒートポンプ蓄熱技術ネットワーク(AHPNW)東京ワークショップ」を開催し130名の参加がありました。

国際エネルギー機関、欧州ヒートポンプ協会、中国ヒートポンプ産業連盟や早稲田大学 理工学術院 教授 齋藤潔 氏他から基調講演が行われ、温室効果ガス排出の大幅増加が見込まれるアジア地域での温暖化防止対応の重要性が提議されました。また、ヒートポンプが利用する空気熱や地中熱、河川水などの未利用エネルギーを再生可能エネルギーと



AHPNW共同宣言

して定義することの必要性が提示されました。

基調講演の内容を踏まえ、AHPNW加盟国各国でのヒートポンプ給湯機の普及

促進に向けた共同宣言をAHPNW加盟7カ国(日本、中国、インド、韓国、ベトナム、タイ、インドネシア)連名で発表しました。

講演者	講演タイトル
IEA本部リードエネルギーアナリスト ジョン デュラック 氏	「エネルギー技術展望とクリーンエネルギーへの移行」
欧州ヒートポンプ協会 事務局長 トーマス ノヴァク 氏	「欧州でのヒートポンプ技術の定義:再生可能エネルギー、エネルギー効率、温室効果ガス削減」
中国ヒートポンプ産業連盟 事務局長 クーパー ザオ 氏	「中国の空気熱源ヒートポンプ市場の発展」
韓国ヒートポンプ産業フォーラム 代表 ジュン チョイ 氏	「韓国でのエネルギー使用におけるヒートポンプ利用の定義、ヒートポンプシステムに関する政策展開」
早稲田大学 理工学術院 教授 齋藤 潔 氏	「温室効果ガス削減に向けたヒートポンプ技術のポテンシャル」 「日本からの提案 ～ヒートポンプを活用した地球温暖化防止への取り組み～」
(株)日立製作所 理事 技師長 矢野 和男 氏	「人工知能はビジネスをどう変えるか」